

東日本大震災復興支援プロジェクト

第27回活動報告



1. 新米を使ったカレーライスを調理しました。 2. 西郷から女性部と婦人会の皆様が視察に訪れました。 3. 被災地に届けようと女子職員が栽培してきたサツマイモを直接手渡しました。 4. 多くの方が会場に足を運んでくれました。 5. 男子職員は屋外での雑用で汗を流しました。

**職員が育てたサツマイモと
新米を被災地に届けました。**

今年度6回目（通算27回目）となる復興支援活動を11月3日、初参加者2人を含む総勢12人が参加して、宮城県東松島市で実施しました。

この日は、JAの若手職員らが西郷地区の圃場で栽培・収穫したサツマイモ（段ボール13箱分）を持参して新東名地区のふれあいセンターや高齢者介護施設、地区住民らに手渡した他、約50人分のカレーライスを調理してふるまい、現地の方々の相互交流を図りました。大山地区の生産者より提供いただいた新米も同時に届けています。

また、同日はJA女性部（西郷支部）と同地区婦人会のメンバー約50人も現地へ視察に訪れ、震災時の体験談やこれまでに至る経緯など、約一時間の講話に聞き入りました。

サツマイモ、新米の提供にあたってご協力くださった生産者はじめ関係者の方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。とても喜ばれました。

【参加者】鈴木大亮（総合戦略室）、星見英朝、伊藤千花子（以上企画総務課）、佐藤浩市、井上拓也、阿部亮矢（以上経理システム課）、眞田綾音（人事課、本間春香、金内恭子（以上本店営業課）、佐藤穂高（南支所、土方花重（大泉支所）、河野美里（西郷支所）以上12人